

令和8年度 学校経営計画書

○本校のミッション（使命、存在意義）

学 校 名	倉敷市立下津井学園
校長氏名	荻野 正樹

- 「地域と共生し、未来を創造する、しなやかな子どもを育む」を学校教育目標とし、
- ・地域に根ざした特色のある学校づくりを進め、社会の担い手となる子どもを育てる
 - ・自ら課題を見つけ、探究することで、豊かな可能性を開花できる子どもを育てる
 - ・多様な価値観を認め合い、自分らしさを柔軟に発揮できる子どもを育てる

○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン（将来像、目指す姿）

将来像	「児童・生徒が学べてよかったと思える学校」 「保護者が通わせてよかったと思える学校」 「教職員が勤めてよかったと思える学校」 「地域から信頼される学校」	校訓 共生 創造 しなやかさ
目指す姿	① 児童・生徒が輝き、充実感を味わうことができる ② 児童・生徒の自己実現ができる ③ 教職員が互いに指導力向上に努め、効率的に職務を遂行できる ④ 保護者や地域に開かれ、児童・生徒が安心安全に生活できる	

○当該年度の具体的な学校経営目標・計画

学びの芽を育み、考えを深め、未来を切り拓く力をもった児童・生徒の育成を図る。

◇ 「下津井学」を通して主体的な学び手を育てる。

- ・下津井のよさ（伝統・文化・遺産・自然・暮らしなど）を知り、引き継ぐ子 I・II期
- ・下津井をよりよく（活性化）したいと思う子 II・III期
- ・下津井の魅力を発信する子 II・III期

◇ 前期課程・後期課程のスムーズな接続で、確かな学力を育む。【知】

- ・落ち着いた学習環境（生徒指導の4つの視点・特別支援教育の視点を意識した指導）
- ・学習規律・授業の共有
- ・基礎学力の向上（一部教科担任制の導入 早期英語楽習）
- ・授業力アップ（児童・生徒主体の授業改善、ICT機器の効果的活用、授業研修の充実）
- ・個に応じた指導（努力の過程を重視、家庭との連携、家庭学習の習慣化）

◇ 異学年とのつながりを生かして豊かな心を育む。【徳】

- ・基本的生活習慣の徹底
- ・積極的な生徒指導の推進
- ・特別支援教育の推進
- ・道徳教育や人権教育の充実
（児童・生徒同士による「よいこと見つけ」、いじめを許さない学校づくり）
- ・特別活動の充実（学級活動・児童生徒会活動・たてわり班活動等）
- ・情報モラル教育の充実

あおいうみ運動（前期課程）
あ あいさつをする子
お 思いやりのある子
い いっしょうけんめいする子
う 運動や勉強をがんばる子
み みんなとなかよくする子

◇ しなやかで健やかな心と体を育む。【体】

- ・体育活動の充実（楽しさ・運動量の確保）
- ・休み時間の異学年遊びの充実（長縄跳び、鉄棒、一輪車、全校遊び）
- ・健康教育の充実（自殺予防教育、教育相談、不登校対策、生活習慣の見直し）
- ・食育の推進

◇ キャリア教育を通して、自己の夢を実現する子どもを育む。

- ・当番・係・委員会活動・行事などを通じた自己有用感と責任感の育成
- ・職場体験学習を通じた社会の厳しさと働くことの意義の修得
- ・自己実現に向けた進路指導・進路保障